

5月27日～31日まで、上海でシニアビジネスに関心を持つ18名が来日し、「日本シニア産業ツアー」を実施いたしました。

参加者は上海の老人ホームやリハビリ病院院長、企業経営者、投資家、政府関係者の方々。当初は5名で企画していましたが、上海でも今後、シニア事業は大きく伸びるマーケットとして捉えられ、先進技術、機器、病院、展示会等の見学ツアーということで急激に参加希望者が増えました。

28日は富山県のアルペン会が運営するリハビリ病院、ケアハウスの見学でしたが中国のリハビリ技術とは全く違うため、写真撮影や質問を熱心に行っていたのが印象的でした。

30日には、高齢者住宅フェアに出向き、3チームに別れて見学を行ったのですが、中国の方

々は興味津々で1人でも展示物を熱心に観察し、出展企業に中国語で質問するしまつで出展者の方々に「何で中国人がこのフェアに？」と驚きの様子でした。介護用浴槽やリフト付介護車、シニア見守りサービス機器、介護用品など今にも購入しそ



施設見学の様子

視察団18名が来日 感嘆の声

中国の 高齢者 マーケット



ゲストハウス社長
松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール

ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

ヘルパーさんや職員さんの対応のよさに一同感激の声。企画した私自身も中国進出にはこれが必要だと改めて実感した瞬間でした。最終日には日本のシニア事業者20名と上海からのツアー参加者で屋形船で交流会を行い、大変盛り上がりました。

上海のツアー参加者とも日間共に過ごし、探究心、積極性、情熱、事業にかけるパワーなどあらゆる面で

な勢いでした。

今回のツアーでは、日本の高級老人ホームを見学したいという希望で、アライブメディアのご協力でコンフォートあざみ野、アライブ世田谷中町を見学させていただきました。上海にも高級老人ホームはありますが、「中国とはホスピタリティが全く違う」、「このソフトこそが中国には必要なのだ」と、勉強させられました。日本が中国にGDPで抜かれ、あらゆる日本の産業も中国企業に凌駕されているニュースが目につきます。介護、医療先進国の私達は、この分野を武器に中国や新興国諸国に打ち勝てるのではないのでしょうか？

こそが中国には必要なのだ」と、